

## 令和8年度一般選抜A個別方式（第2期）出題意図

### 科目名：歴史総合，世界史探究

#### I （世界の移民）

19～20 世紀初頭における世界的な移民の展開について，その背景と影響を含めて理解しているかを「歴史総合」の内容を含めて問うことを目的とした。アイルランド系などのアメリカへの移民，日本人のハワイ移民，南インド系労働者のマレー移住などを取り上げ，地域を越えた人の移動の広がりとその歴史的特徴の把握ができていないかを測った。また，移民の背景や移民先における労働需要に着目させることで，人口移動の要因についての理解を測った。さらに，1882 年と 1924 年の特定の民族を対象とした移民制限法に関する設問を通じて，移民の流入が，受け入れ社会のあり方に変化をもたらしたことについての理解を問うた。最後に，移民の背景となった歴史的出来事の年代を年表から選択させる設問により，歴史事項を時系列の中で正確に位置づける力をみた。

#### II （古代～中世の朝鮮半島）

古代から中世に至る朝鮮半島の歴史的展開について，通史的な理解を問うことを目的とした。衛氏朝鮮，高句麗，百濟，新羅，高麗といった諸国家の成立と展開を軸に，建国事情，国家間の抗争と統一の過程，対外関係，国家制度や文化に関する基本事項を確認した。また，高句麗の遷都先を問う設問では地理的な把握力を測り，新羅・高麗に関する設問では政治史と文化史の双方に関わる内容を扱うことで，複合的な観点から歴史を理解する力を求めた。さらに，各設問では，朝鮮半島内部の政治的展開にとどまらず，中国・モンゴル・日本など周辺諸地域との関係に着目し，当該地域を広域的な国際関係の中で捉える視点を求めた。こうした対外関係に関する出題を通じて，朝鮮半島史を東アジア世界の動向と関連づけて理解しているかを測った。

#### III （古代ギリシア・ローマ～中世西ヨーロッパ）

リード文をもとに，古代ギリシア・ローマからゲルマン人による侵入と建国，中世西欧国家の発展までの大きな歴史的流れを捉えているかを問う問題である。ポリスの成立，ヘレニズム世界，ゲルマン人諸国家の建設，フランク王国の発展，カペー朝，神聖ローマ帝国，ノルマン朝などを扱い，古代から中世に至るヨーロッパ世界の政治・社会・戦争・制度等を総合的に理解する力を測定した。正誤問題形式の設問では，リュクルゴスの制，トゥール・ポワティエ間の戦い，アルヴィジヨワ派，叙任権闘争，金印勅書，模範議会などの個別事項を問うことで，正確な知識にもとづく判断力を評価した。また，学習上では分断されがちな古代世界から中世世界への展開を，長期的な時代を扱ったリード文を用いることによって混乱せずに解答することができるかという点も確認した。

#### IV （モンゴル帝国と元）

13 世紀に成立したモンゴル帝国と元に関する問題である。チンギス＝ハン以後の遠征，カイドゥの乱などに関する設問から，帝国の成立と分裂の過程を問うた。地図問題では，モンゴル帝国建国以前の 12 世紀の内陸アジア，およびその後成立した各ハン国の位置関係について問うた。さらに，当時の周辺諸国の情勢，科挙の停止，色目人重用，元曲の発展，通貨など，政治・経済・文化を総合的に扱うとともに，多くの来訪者に関連して，ユーラシア規模での国際交流の理解を問うた。

#### V （近代西洋文明）

年表を用いて，ルネサンス以降の近代西洋文明とそれに関連した事象，すなわち宗教改革・科学革命・啓蒙思想・ロマン主義・近代文化・現代文明等を通史的に理解しているかを問う問題である。ルネサンス美術と北方ルネサンス，宗教改革の前後関係，科学革命（ニュートン・ボイル），啓蒙専制君主（啓蒙絶対君主）や百科全書派，ロマン主義の文学と絵画，19 世紀科学技術，20 世紀文化（ジャズ・インターネット・核兵器）など，文化・思想史の基礎的知識を体系的に確認する内容となっている。出来事の相互関係や時代順の正確さを問うことで，文化史を，社会史・政治史と結びつけた歴史的流れの中で理解しているかという点も確認した。